

二度目の優勝への道のい

全日本リレー大会 2014年12月7日 岐阜県中津川市

椈の湖で開催された全日本リレーで、愛知県チームは、2011年松本での大会に続き、3年ぶり2度目の全国総合優勝。

2014年12月7日(日) 岐阜県中津川市
全日本リレーオリエンテーリング大会



準ホームで嬉しい優勝

2011年は、願わくは優勝、少なくとも3位はキープしたいと考えているところで、目標以上の戦果の優勝。その時点で愛知県の戦力を再認識し、現実的に目標を総合優勝と掲げるようになりながら、2012年長崎、2013年東京と果たせず、本年久々に優勝を達成しました。積雪の中の運営、岐阜県等の皆様には、お礼申し上げます。椈の湖は準ホームとも言える場所で、嬉しく思います。

ジュニアとスーパーベテラン(XV65歳以上)の活躍が重要要素ですが、※選手権クラス(ME・WE以外)の得点クラスは次の通り

2014: MJ 優勝、WJ 優勝、XJ 優勝、XV2 位
2013: XV 優勝、MJ 優勝、XJ2 位、MV3 位
2012: MJ 優勝、WJ 優勝、MV4 位



女子選手権クラス 愛知県優勝!

目標

- (1) 愛知県チームとしての選手層(参加者数)の維持
- (2) 社会人(卒業直後、シニア層、ベテラン層、スーパーベテラン層)へ目標となる大会の提供
- (3) 学生(中高生)と社会人オリエンティアの距離を縮める

効果

- (1) 参加者数は全国1位をほぼ継続記録がある2008~2014のうち2012を除く7年間は全国1位(2012 東京は地元東京都が参加者数1位)
2014は、選手権+一般クラスの愛知県関係者数は100名
- (2) オリエンテーリングの目標となる大会は、学生時代はインカレ、地区学連セレクションなど、大学ク

ラブ全体の目標となる大会が数多くあります。学生を卒業すると、そういった大会はめっきり少なくなります。全日本リレーが、愛知県チーム全体の目標となる大会となればと思います。

- (3) オリエンテーリングは、子供から80代までできるスポーツであり、全日本リレーは、中学生クラスから、スーパーベテランクラスまで、年齢差が50歳以上にわたる大会です。

大会当日出走前の愛知県全員の円陣や(60~90人)、一目で愛知県選手と分かるチーム鉢巻などを、導入してきました。

全日本リレーは、極論を言えば、ME・WEの6人+MEWE以外12人=18人でも総合優勝可能なルールですが、愛知県では「層を厚く」「みんなで楽しむ」ことで、全体の底上げと、各クラスでのトップ選手を育成してきました。

2015年滋賀以降も、愛知県では引き続き全国総合優勝をめざし、全日本リレーに力を入れていきます。

(山口尚宏)



愛知県選手団